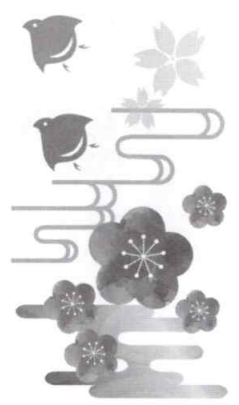


# 芸は身を助ける と思ふぢんか



第24号発行  
2022・1・22

発行責任者  
赤川イシ子



## 年頭に思う

会長 赤川イシ子

平凡な日常がどれだけ幸せなことを、コロナ禍の窮屈な生活の中で、改めて感じております。

今年には保存会にとって大きな節目になりました。歩み続けた70年。その意義と重みを身を引き締めて取り組まねばなりません。継続は力なりと申しますが、続けることの大変さも痛感しております。ともあれ、11月の公演に向けて努力と頑張り、自分みがきに邁進しましょう。

コロナ禍、途切れ途切れの練習の日々、あちらこちらと練習会場を移しての苦勞。今は少し状況が落ち着きホッとしている昨今ですが、また新たなオミクロンなる言葉が生まれ、100%安心できないのも事実です。どんな苦難の中でも目標を持って向かえば、必ず結果はついて来ます。笑顔でその日を迎え、笑顔で終えられますように。

暗いニュースが多かったように思える昨年でしたが、そんな中、大きな太陽のような、明るい話題が続

ましたね。オオタニさん。本当に一年を通して、日本中に勇気と希望とワクワク感を与えてくれましたね。今年はどうな一年になりますか。

ともあれ元気で明るい日々が過ぎれば、それだけでラッキーでしょう。あ、そうそう、年のはじめです。明けましておめでとうございます。今年もよろしく、のご挨拶を申し上げます。

## 忘れられない民謡

● 矢代 絹代

私には、忘れられない民謡があります。青森のりんご農家の老翁が、しゃがれ声で絞り出す様に唄ってくれた「津軽よされ節」です。以前テレビで観た、冬にりんごの木を剪定する映像を思い出しながら聞きました。

老翁の唄には鳴り物はつかず、周りはりんご畑。生まれ育った環境、土地柄、生き方が唄に出るのでしょいか。よく言われる「味のある」もので、素朴で心に沁みるとても印象

## 70年に思う

● 大橋 義則

コロナ禍により今まで通りの日常生活に戻れませんが、70周年に向けて、色々と課題もあります。皆様から楽しんでもらえる様、練習に励んでいる所です。今後ともよろしくお願致します。

的な唄でした。叶うならもう一度、あの時の、あの声で、あの唄を聞いてみたい……。



### 七十周年に思う

●服部 眞一

世間では、一趣味の会が七十年も続くなど、非常に珍しいと言う。昔からさまざまなイベントや行事がある度に出演し、時には県外や海外まで出かけたことも多々ありました。

柏崎の民謡を忠実に伝承し、保存して来ました。

今年秋の記念公演で、再び披露できることは光栄の極みであります。

私も微力ながら笛吹きの一人士として、保存会の名に恥じぬ様、努力する所存でございます。御期待下さい。



### 七十周年に思う

●堀 憲一

昭和二十八年に民謡の宝庫、柏崎に保存会は発足しました。先人・先輩方々の柏崎に民謡を根付かせようという強い信念の基、発会され現在まで脈々と受け継がれ唄や踊りが守られてきたことに感謝するのみです。これからも若い人達に延々受け継がれる事、更に発展していくことを願っております。

### 七十周年公演のよろこび

●田辺伊勢松

二年続いたコロナ禍でみんな揃っての忘・新年会は中止、練習も出来ない日々が続いた。七十周年公演のステージが出来るようになり、出場できるよろこびは私にとって最後になると思う。

平成元年に入会して以来、三十五年間お世話になりました。想い出が沢山あります。遠方での出演はグアム島・島根県・東京・鹿児島県で楽しませていただきました。

八十路の峠、三合目。日に日に厳しさを実感しています。ありがとうございました。



### 七十周年に向けて

●岸本なおみ

初秋の頃、小千谷の城山に登って来ました。平たんな道ばかりではなく、時には息が上がる所もありました。頂上に着いて頬張るおにぎりは格別でした。七十周年に向けての道は紆余曲折ですが完成した時の気持ちはひとしおかと思えます。一歩一歩、大地を踏みしめる様に進みたいと思います。



### 母の血

●坂井 文繪

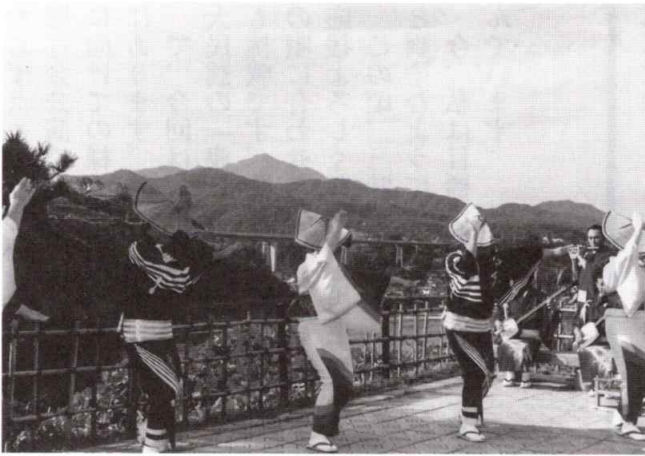
あつ盆踊りの太鼓だ！母と私の血が騒ぐ。どこの盆踊りにも顔を出す母と私を槽の上から見ていたのが保存会の笛吹きさんだ。「そんなに好きなら……」と言われ入会した。しかし昔の事とて練習は厳しく緩む頼などなく歯を食い縛るのみ。でも、踊りたい一心で続けてきた。爾来六十年。今は足腰を労りながらも踊り続けたいのは、私の中で母の血がまだ燃え尽きてはいないのであろう。

### 和と輪

●飯塚 和代

コロナでは不安な日々が続き、生活が一変した。そんな中でも良い事もあり、何処へも行けない出歩けない。

それでも一つ一つ良いと言われることを守り、一日一日が過ぎていった。目に見えない(ウイルス)の不安にどうなっていくのか想像がふくらんでいったが、ようやく6月より保存会が再開となり、七十周年に向かって皆なが一つになるうとしていく。あと二年がもう一年となり、全



速力で走らなければならぬと拍車をかけている今日この頃となった。

### 三階節のルーツ

●藤田寿美子

コミセンの依頼により、三階節の謂れと踊りを教えて欲しいとのことで行ってきました。

専福寺に「しげさ」というお坊さんがいました。しげさは「ごかんげ」説教が上手でごかんげを頼まれては村々をまわり、仏様のありがたさや人間に生まれた幸せをごかんげして



歩いた。なまけ者は働き者になり、親を困らせた者は親孝行になると、ありがたや、ありがたやと涙を流して喜ばれた。しげさはごかんげの後に、大好きな酒をごちそうになり、酒を飲むと歌を口ずさむ「しげさしげさと声にする、しげさのごかんげ山坂越えてもまいりたや」と口ずさむ

出ない日が多くなったので、夫の散歩に同行させてもらう事にしました。鶴川の堤防を、六キロを一時間を歩く事で、四季の移ろいを感じられます。夏の早朝に、朝日に向かって行く、すがすがしさは何とも言えません。コロナ終息後も、続けていきたいと思っています。

### コロナ禍で始めたこと

●海津 清子

コロナで外出が制約され、家から



### コロナ禍で思う

●大橋 秀雄

コロナウイルス感染の広がりのため、保存会の活動が全て中止になってしまいました。

しかしようやくコロナも少しは落ち着き、規制も緩和されました。感染して皆さんに迷惑がからないように、外食や飲み会を控えて来たが、これからは少し楽しみながら練習を頑張りたいと思います。

### 目 標

●曇 昌美

私の三味線弾きの最終目標は……と考えると、80歳を過ぎてても変

わらずステージで弾けることかと。保存会公演での演奏は、そのゴールに向けての様々な指標のうちの一つにあります。

で、今回はと言いますと、津軽五大民謡の「津軽あいや節」に無謀にも挑戦です。曲弾きからの文字さんの唄に合わせた唄付け伴奏。皆さん応援よろしくお願いします。

この頃、三味線が身体にしつくりと馴染むようになってきました。今、私は目標に向かって着実に歩んでいます。

### 保存会に入会して、

#### 今思っていること

● 牧野 悦子

保存会に入会した時、五十周年公演の前の年でした。公演が近づくにつれ、練習時間が多くなり、続けて行けるだろうかと不安に感じた事、覚えていません。が、終わった後の達成感と、会員の皆様との絆を感じさせられました。あつという間に二十年過ぎましたが、あまり上達せず、覚えられずどんどん落ち込むことと多々ありますが、こうして続けられたのは、保存会の意義、柏崎の文化をなくしてはならないという皆様の強い気持ちを感じているからだと思えます。先輩会員の皆様の姿を見

て、これからも七十周年公演に向け、日々練習の積み重ねだと思ひ、頑張つて行きたいと思ひます。

### 保存会に思う

● 行田 淳一

自宅は小勝醤油様から醤油買っていました。当時、大島常吉様は小勝醤油様に勤務していられた。私と民謡保存会を結び付けた最初でした。商工会議所二階が練習会場。「3」の付く日が例会日、皆様の練習している姿をうしろの方で「ボヤアト」見ていたこと記憶しています。

### 今年の嬉しかった事

● 種橋 靖子

今年の嬉しかった事は、新潟県民謡協会の認定試験に受かった事だ。新型コロナウイルスで二年間中止になり、その間に、地道に教室に通い、唄と三味線の稽古に励んだ。

唄は助教師、教師と取得しており、今年に講師を受験し、合格できました。

三味線は助教師で、合格できました。試験の数日前に体調を崩してしま



い、医者で点滴を打ってもらい、ようやく体調が整い試験当日は、まだ思い通りに歌えず、非常に緊張しましたが合格できて本当に嬉しかったです。母が一番協力してくれ、本当に感謝して居ります。本当にありがとうございました。これからも民謡を発展させて行くのが、私の夢です。

### 踊れる喜び

● 棚橋 峰子

柏崎文化祭が、突然中止になって

から、丁度二年が過ぎ、再び同じ舞台からスタートできる喜びで練習に力が入ります。全く行事も舞台もなかつた練習のみですと、一段アップしたい気力、体力もなくなり、このまま踊れなくなる不安と焦りで心が折れてしまいそうでした。踊れる喜び、ステージを大切にしたいと思います。

### 民謡を学ぶ

● 森山 文子

民謡保存会に入会して二年になります。

### 私の思い

●桑原まり子

好奇心は生きる力……と誰かが言っていた様な。私も自分の好奇心の満足の為にはお金や体、時間を使いかけずり回っています。私の3人の姉達もみんな飛んでいて、私はついてゆくのが大変ですが、以前の様になつたらと、今は計画を練って機会をねらっています。(いつどこへでも行ける瞬発力を無くさない様にながら)



保存会に入る前は聞いたこともなかった唄も、少しずつ耳に馴染んできた今日この頃です。  
今後も健康に留意しつつ、楽しく学ばせていただきたいと思います。

### 剣野小創立三〇周年

#### 運動会

五月 六日(木) 練習

十一日(火) 〃

十五日(土) 運動会

輪踊りの三階節指導

太鼓は児童が担当

唄・後唄は剣野町の方

海津・牧野(悦)・牧野(加)・矢代

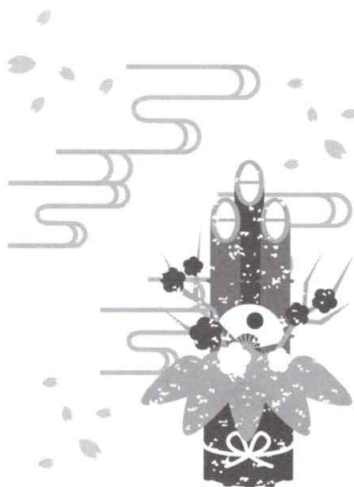
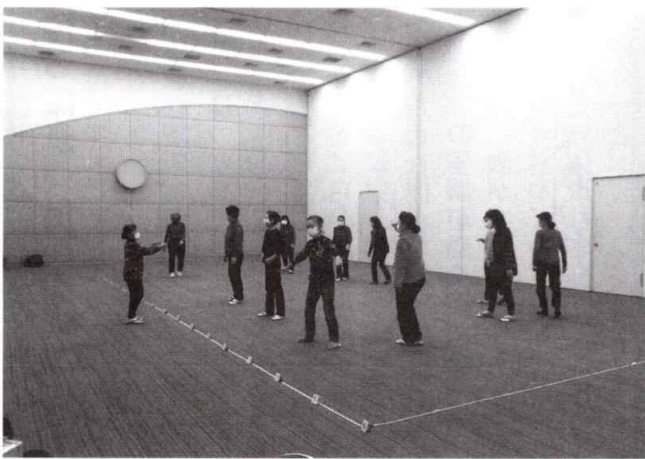
予行練習後、一年生の生徒から「うまく踊れたよ」「むずかしかったア」の声。「上手に踊っていたのを見てたよ。運動会には頑張つて踊ろうね。」と言うとニコッと笑って駆けて行きました。

三日間、皆さんの一生懸命な練習の様子など見ていたので、私達四人は感動と元気ももらい、帰宅しました。

### 応援しています

●長谷川 恵

皆様が70周年公演の練習に励まれていること陰ながら応援しております。私は現在業務多忙のため休会させていただいています。また一緒に踊れる日を楽しみにしております。



### かけがえのないもの

●内山久美子

私は今、コロナ禍というだけでなく子育てなどで思うように練習に参加できないでいます。そうして離れてみて、改めて自分にとって「踊り」がどういふものなのかを知ることができました。練習に参加できる時間、保存会で出会えた方々を大切にこれからも踊りを続けていきます。

### 今年を振り返って

●高杉ニコキ

コロナで明け暮れ、その中で保存会では七十周年を迎えようとしています。

練習の場を失い、ぎおんの民謡流し、駅前のロータリーでの盆踊り、その他の出演などの行事が中止になり、不安な日々を過ごした日々でした。

でもコロナも終息の気配で少し安堵。

好きで入った保存会、一年一年を大事にしながら、七十周年に向かって仲間の人達に助けてもらいながら、無事に終わるまで頑張ろうと思っています。

### 私の思い

●上村千代子

いつになったら終息するのか？新型コロナウィルス、次から次へと新しい変異株ができて困ったものだと思う。この先、まだまだウィルスに対しての不安はあるけれど、70周年に向けて練習できる時に、その時の時の練習時間を実のあるものになるよう頑張らなければと思います。70周年がより良い発表会となるよう、そして何より無事に迎えることができるよう祈るばかりです。

### 福祉活動を通して

●牧野加代子

地区ふれあいサロンにて、参加者皆様と三階節、柏崎甚句を踊った。

歌う人、囃子をかける人、若い頃を思いだして自然に体が動く。楽しい雰囲気になり「盆踊りやったね」「今日は寝らんねえー」(笑)

心温まる言葉に元気を貰い、沢山の喜びを感じた。続ける事の大切さを感じ、明るい気持ちで前向きに頑張りたい。

### 待ちにまった70周年

●江部登美子

長かったコロナ、なんとか少し収まり、ほっとしています。でもまたいつ……?と思うと安心出来ません。でも70周年はなんとでも成功させないと。自分自身時間があるのにカセットテープを枕元におきスィッチさえも押さない自分に腹が立つ。自分の体調が悪く体が思う様に動かない。歯がゆい毎日です。そんな事ばかり言っていられない。少しずつ自分の体にむき合って練習して行かないと。

70周年は大成功に終わりたいと思います。頑張ります。

### 内山正三郎さん逝く

●間島 正明

令和三年四月二日、私の師匠内山正三郎さんが亡くなりました。

三十数年に亘り、四谷の教室から唄で始まり、その後三味線をやり、藤元町の教室まで、色々教えていただきました。

三味線始めてすぐ、柏崎民謡保存会に入会、今日に至っております。本当にお世話になりました。

### 活動報告と

### 行事計画

昨年は行事ゼロ、活動ゼロでした。今年の行事計画は、何と言っても11月の70周年記念公演を無事終えること、願わくば満席の中で開催出来るようにと願う。そして、中止の続いた市行事への参加、ぎおんまつり、開催できますように。

柏崎民謡保存会  
**70周年記念公演**  
 令和4年  
**11月6日(日)**  
**決定**

会場：柏崎市文化会館アルフォーレ

### 編集後記

24号発行に、続いた年数の重みを感じたら毎回原稿をお寄せ下さる、会員並びに関係各位に感謝申し上げます。